

元んしんぽんり

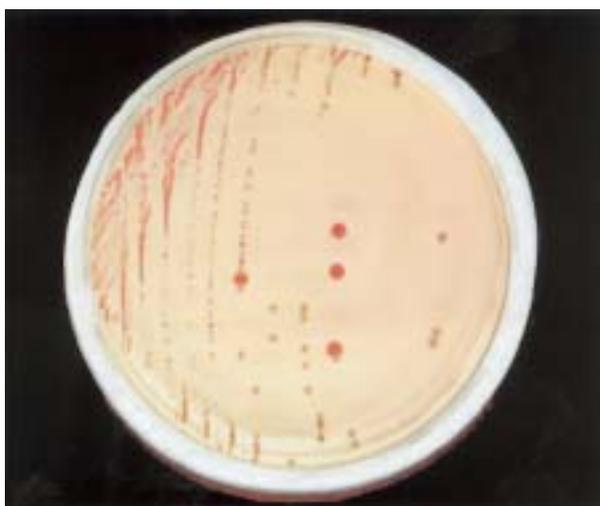


目次	腸管出血性大腸菌O157..... 1	お知らせ..... 4
	検査情報..... 2	会員の先生方から一言..... 4
	検査Q&A..... 2	メモ..... 4
	センターご紹介..... 3	編集後記..... 4
	ひろば..... 3	

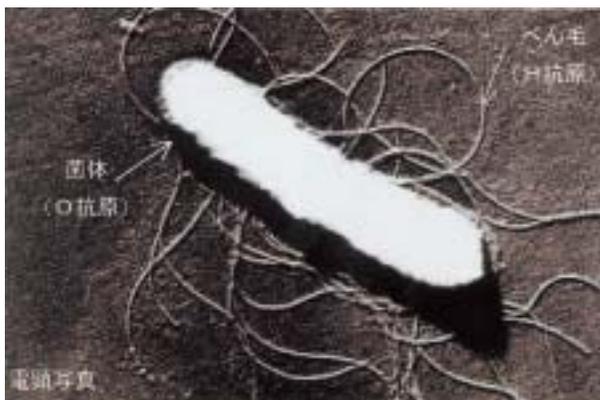
腸管出血性大腸菌O157

(ベロ毒素産生性大腸菌)

Escherichia Coli O157



(福岡市医師会臨床検査センターにて培養)



(電顕像：大阪府立公衆衛生研究所より許可を得て引用)

大腸菌O157はベロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌の代表的存在で、1996年関西地方で集団発生があったことが記憶に残ります。

軽い腹痛や下痢程度から激しい血性便、傾眠、白血球増多など多彩な症状がみられ、このような患者さんが検査対象となります。5歳以下の乳幼児や高齢者は急激な病状変化(溶血性尿毒症症候群や脳症)が見られることがあり注意が必要です。

大腸菌はO(オー)抗原(細胞壁由来)とH抗原(べん毛由来)により細かく分類されています。「O157」とは、O抗原として157番目に発見されたものを持つという意味です。(現在約180に分類されています。)

検査は選択培地として、ソルビット・マッコッキー培地を用いて大腸菌O157とその他の大腸菌を区別し易くします。写真は培養2日目のもので大腸菌O157は無色からやや赤みを帯びた透明な集落で、その他の大腸菌は赤紫色の集落として発育しています。培養で大腸菌O157を疑う集落の発育がみられれば、生化学的性状及び診断用血清によるO抗原検査を行い大腸菌O157であることを確認します。

大腸菌O157は年間を通じて検出されます

が、初夏から初秋にかけて多い傾向がありますので、これからの季節は注意が必要となります。また、大腸菌O157は3類感染症に指定されているため、診断が確定した場合所轄の保健所長への届け出が必要です。



検査情報

HCV抗体のすすめ方

†〔スクリーニング〕

・HCV抗体Ⅲ（CLEIA法、IRMA法）、HCV抗体Ⅱ（PA法、EIA法）

陽性 ALT（GPT）異常

†〔確認検査〕

ウイルス量の確認・ウイルスの存在の確認

・HCV RNA定量（PCR法、DNAプローブ法）
・HCVコア蛋白質測定

・HCV RNA定性（PCR）

陰性

陽性

陽性

陰性

HCV 感染状態

既往感染

*注
ウイルスの存在は完全否定されません。他の検査結果と併せて最終的な判定を行って下さい。

†〔治療方針の選択〕

・ウイルス量	HCV RNA定量（PCR・DNAプローブ法）、HCVコア蛋白質測定、
・ウイルスの型	HCV群別（セロタイプ）、HCV RNA ジェノタイプ
・病態把握	肝機能検査〔ALT（GPT）など〕、血小板数、組織所見（肝生検）、 画像診断、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン etc...

†〔モニタリング〕

・ウイルス量	HCV RNA定量（PCR・DNAプローブ法）、HCVコア蛋白質測定、 HCVコア抗体価
・病態把握	肝機能検査〔ALT（GPT）など〕、血小板数、ヒアルロン酸、 IV型コラーゲン、HCV抗体I etc...



検査Q & A

Q：C型肝炎の無症候性キャリアでは、体内にウイルスが存在しているのに、なぜ肝機能が正常なんですか？

A：HCV感染による肝機能の異常は、ウイルスが直接肝臓を破壊して肝炎を起こすのではなく、患者の免疫がウイルスの存在に気付き、ウイルスを排除するために感染した肝細胞を破壊した結果起こる病気です。つまり、無症候性キャリアとは、患者の免疫がウイルスの存在に反応していない状態です。

血清検査 技師 納戸 一美

センターご紹介



血清検査

血清検査では、ウイルス肝炎、梅毒、H I Vなど感染症の検査を主に行っています。スタッフは検査技師10名(男性2名、女性8名)で全員が協力しながら検査業務に取り組んでいます。現在、検査の自動化が進んでいますが、当部署は比較的手作業が多く熟練を要します。

昨年導入したアレルギー検査(CLEIA法)においては、今春は花粉の大量飛散により先生方にたくさんのご依頼をいただきました。花粉症を含め様々なアレルギー疾患をもつ患者は日本人の3割を超えるといわれ、しかも年々増加の傾向にあるようです。私たちもその変化に柔軟に対応してゆかなければならないと思っております。これからも、先生方の診断や治療に役立つ性格なデータを迅速に提供できますよう頑張っていきます。



後方左から

井土綾子 船津紀子 吉村由美子 有吉英二 納戸一美

前方左から

片淵理恵 三好奈々 杉本清美(主任) 北村一枝 藤本雅男



ひろば

韓国語

日本語はおわかりですか?

今日はどうなさいましたか?

証明書はお持ちですか?

予診票(カード)にご記入下さい。

食物や薬にアレルギーがありますか?

お名前をお呼びしますので、掛けてお待ち下さい。

～さん診察室にお入り下さい。

検査のために採血します。

お薬は処方薬局でお受け取り下さい。

お大事になさいます。

イルボンマルン イヘ ハシムニカ
일본말은 이해 하십니까?

オディガ プルビョン ハシムニカ
어디가 불편 하십니까?

コンガンボホムチュン イッスムニカ
건강보험증은 있습니까?

イエジンピョルル キョップペ チュシプシヨ
예진표를 기입해 주십시오

ウムシギナ ヤグテーハン アレルギーガ イッスムニカ
음식이나 약에 대한 알레르기는 있습니까?

イルムル プルッテカジ アンジャソ キダリョ チュシプシヨ
이름을 부를때까지 앉아서 기다려 주십시오

チンチャルシルロ トロオセヨ
진찰실로 들어오세요

ヒョレクコムサルル ハゲッスムニダ
혈액검사를 하겠습니다

ヤゲン チョバンヤクゲソ バダ カセヨ
약은 조제약국에서 받아 가세요

モムジョシム ハセヨ
몸조심 하세요



お知らせ

福岡市と医師会臨床検査センターと共同で通信システム（Ｌネット）を開発しミニドックの血液検査データを管理することになりました。

つきましては、ミニドックの検体提出の際には、次のことをご留意のうえご協力の程お願い申し上げます。

1. 検査依頼書に所定事項をもれなくご記入下さい。
 - ①氏名、性別、年齢（生年月日）
 - ②医師会セット「福岡市ミニドック（S150）」にチェック
2. 検診料ご請求の際
 - ①ミニドック（基本健康診査）記録票の福岡市用に医師会臨床検査センターが発行した専用報告書を貼付
 - ②実施報告書を添えて検診実施月の翌月10日迄にご提出

会員の先生方から一言



この度は「えんしんぶんり」の発刊おめでとうございます。発刊2号を読ませていただきましたが、良く纏まっており読みやすく大変よい企画だと思えます。今後の発展が楽しみです。

私は医院を開設以来、二十数年一貫して医師会検査センターのユーザーですが、信頼の置ける精度と迅速性には大変満足しております。一時期大変な苦戦を強いられたと云う事で、我々も心配しておりましたが、昨今は井上担当理事を始めセンターの皆様方の必死の努力で、ほぼ元に戻ったとの事で安堵している所です。ユーザーの一人として日頃考えていることを、2, 3述べたいと思えます。

一つはPR不足の為に今一つ親近感が弱いように思えます。本誌発刊を期に大いにPRして、センターを身近に感じてもらうことが大切であると思えます。例えば精度にはこのように自信があるとか、迅速に検査結果をお知らせする為にこのように努力しているとか。

PRに関しても一つ、それはインターネットのホームページの充実です。殆んど医師会がインターネットをする時代です。PRの為にホームページの充実は特に大切です。

次に検査値の解釈についての情報が欲しいと思えます。専門外の検査をした場合など検査値の解釈に難渋する事があります。特にウイルスマーカー、腫瘍マーカー、ホルモン定量などについて、ユーザーから情報提供の要望があれば迅速に対応して頂きたい。一朝一夕には無理でしょうが、QアンドAの形式でデータベースとして蓄積して頂き、ホームページに掲載或いは本誌に連載、要望があればファックスで流していただくと大変有難いと思えます。

勝手なお願いになりましたが地域の検査センターのリーダーとして、益々発展されることを心より願っております。

博多区医師会会長 古川 洸

メモ

施設内勉強会	臨床検査技師・営業担当者向		
	「甲状腺検査について」	5月22日(火)	於)第3会議室
	「LDHアイソザイムについて」	5月24・25日(木)(金)	於)第3会議室
	「ウイルス検査について」	6月26日(火)	於)第3会議室
	対象：参加要予約		
会議	臨床検査センター運営会議	5月30日(水)	於)役員室

編集後記 新緑の頃、若葉の隙間からそよ風に乗って暖かい陽光が差し込む季節、ミツバチたちがレンゲ草やツツジの蜜を求めて野原を飛び交っています。

表紙のレンゲ草について…原産地：中国、花言葉：私の苦しみを和らげる
最盛期：5月、日本では「春の小川はさらさらゆくよ、岸のすみれやれんげの花に・・・」という春の小川の歌で有名な花です。レンゲ草は肥やしとしての価値も高いため、秋に収穫した後の田にレンゲの種を撒き、春の満開時にその田の中にすきこみます。薬効もありそこから、「私の苦しみを和らげる」と言う花言葉になりました。

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 時藤清臣 尾形幸子 柿本正人



〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6-9

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.ijnet.or.jp/fma/kensa/kensa.html E-mail: fma@po.ijnet.or.jp